5学年 国語科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

- (1)目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く 能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2)目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、 適切に書こうとする態度を育てる。
- (3)目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・ 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。
- 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、 計画的に話し合ったりしている。
- ・ 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章を書いている。
- 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいる。
- ・ 伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字に書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。

◆ 評価の方法

学習態度 発表 ノート テスト 作品 音読 情報収集 プリント

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

◆ 字期ことの字智内容と字智のホイント		
	学習すること	学習のポイント
	○ だいじょうぶ だいじょうぶ(物語)	物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように声に出して
		読む。
	○ メモを使って題材をさがそう	・連想によって言葉を広げ、書く題材を探して文章を書く。
	○ 文の組み立てに気をつけよう	・ 言葉の係り受けに理解を深め、意味が正確に伝わる文を書くこ
	○ 動物の体と気候	との大切さを理解する。 ・ 文章の構成を考えながら、要旨を読み取る。
	○ 動物の体と対例 ○ ゲストティーチャーをすいせんしよう	・ 理由を明確にして、人物を推薦するための話をする。
前	○ サ界でいちばんやかましい音	・「設定」「展開」「山場」「結末」の部分を確かめて、物語の構成を
	O Est CV State (n acc of	とらえ、場面の展開に即して人物の変化を読み取る。
	○ 意見とその理由を聞き取ろう	ふさわしい理由を挙げて意見を述べているか、考えながら聞く。
	○ 新聞記事を読み比べよう	・ 二つの新聞記事を読み比べて、書き手の意図を読み取る。
期	○ 立場を明確にして書こう	・ 自分の意見が分かりやすく伝わるように、立場を明確にし、構成
//-		を考えて書く。
	○ 古文を声に出して読んでみよう	・ 古文の冒頭を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内
		容の大体を知る。
	○ 詩と俳句を味わおう	・ 情景や心情を思い浮かべながら詩や俳句を声に出して読み味 わう。
	○ パネル討論をしよう	・ 自分の立場を明確にして、相手の意図を考えながら話し合う。
	○ 介が問酬をしより○ 資料を読んで考えたことを書こう	・ 資料を生かして、自分が考えたことが伝わるように書く。
	○ 毛筆(旅、必要、山道)	・字形や字配りについて理解して気をつけて書く。
	○ 注文の多い料理店	・ 構成や表現の工夫に目を向けて、物語を読み味わう。
	○ ふしぎな世界へ出かけよう	構成を考えて、場面の情景が伝わるように表現を工夫しながら
		筋道の通った物語を書く。
	○ 森林のおくりもの	・ 題名やのべ方の工夫に注意して筆者の考えを読み取り、環境
後		問題に関心を持つ。
1友	○ 気持ちを伝える言葉について考えよう	・内容や目的に合わせて、効果的な発表方法を工夫する。
	○ 大造じいさんとがん	一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。
	○ 古文に親しもう	■ る。 ・ 古文とその解説文を読み、昔の人の物の見方や感じ方を知る。
11 11	○ 日文に続しもう ○ 伝えよう、委員会活動	・目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く。
期	○ わたしの「とっておきの一枚」	 組み立てを工夫して話し、話し手の思いをとらえながら聞く。
	○ テレビとのつきあい方	・ 例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、読み取っ
		たことをもとに自分の考えを書く。
	○ 手塚治虫	・ 伝記を読み、人物の考え方や生き方について考える。
	○ 毛筆(きずな、花さく町、出発、星ふる夜)	字配りや配列について理解して気をつけて書く。